

I 教育目標	
○よく考える子	(自ら考え、主体的に問題解決を図る児童)
○思いやりのある子	(相手を思いやり、豊かにかかわりあえる児童)
○がんばる子	(困難なことにも耐えうるしなやかな心をもつ児童)
○じょうぶな子	(生命を尊び、健康の保持増進と体力の向上に努める児童)

II 経営方針	
目指す学校像	児童の 保護者の 地域の 教職員の 笑顔あふれる学校 ～ウェルビーイングからエージェンシーへ～
目指す児童像	自分から ○自ら考え主体的に学ぶことも つながって ○つながりを大切にすることも 自分らしく前向きに ○自分らしくのびやかに活動することも
目指す教師像	自分から ○自ら考え主体的に学ぶ教師 つながって ○互いに高め合う教師 自分らしく前向きに ○自分らしく愛情と熱意をもって働く教師
経営理念	<p>「自分から」 児童の思考に着目した指導方法を工夫改善した授業「りんかいスタイル学習(思考の可視化×学び合い)」を展開することで、自ら学ぶ児童を育成する。生活科・総合的な学習を中心に地域をベースとした探究的な学習を展開し、課題解決力と社会貢献力を培う。</p> <p>「つながって」 学年間や異学年間、地域の人々との交流活動や地域の人材を活用した教育活動等をおおして、道徳性や豊かな人間性、自他を大切に作る人間関係形成力を培う。</p> <p>「自分らしく 前向きに」 教育活動全体をおおして自分らしさを大切にした指導をする。体力の向上や食育防災教育により、健康で活力ある生活を営む実践力を育てる。また、校内支援委員会の活動を一層活性化させ、個に応じた指導ときめ細やかな支援による児童の心身の健やかな成長を図り、しなやかな心を育てる。</p> <p>【保護者・地域との連携・協働】 今年度開校121年の歴史と伝統のある地域の中の学校として期待と信頼応えるため、教育の不易な部分を大切に、創造性ある学校経営を進めていく。保・幼・小・中連携教育を推進・充実し、保護者・地域との連携・協働を通して、地域を愛し、地域に生きる人間の育成を図る。</p>

III 経営目標

重点領域I		学力の定着・向上
中期経営目標	こどもが自らの学びを実感できる授業の実施と基礎基本の定着・学力の向上	
短期経営目標	「自分から」 ・児童の思考の流れに沿った授業展開による主体的な学びの育成 ・生活科・総合的な学習を中心とした探究学習の展開による課題解決力と社会貢献力の育成 ・ICTの効果的な活用と読書活動の推進	
項目	努力指標(教師側)	成果指標(こども側)
1	「学びスタンダード」の確実な定着をすべての教員が100%実施する。	各学年教科のスタンダードを身に付けている児童の割合を90%以上にする。
2	児童の思考の流れに沿った展開を工夫した授業を、全教員が100%実施する。	児童アンケートで「学習内容が分かった」「学習が楽しい」という肯定的評価が90%を超えるようにする。
3	ICTを効果的に活用した授業展開を全教員が毎日1回以上行う。	「ICTを活用して学びを進めている」という児童の割合を95%以上にする。
4	生活科・総合的な学習を中心に、児童が自ら探究的な学習に取り組む活動展開を年間で実践する。	「自ら考えて学習を進めることができた」という児童の割合を90%以上にする。
5	朝読書や読み聞かせを週2回確実に実施し、目標を設定させ、本に親しむ習慣を育成する指導を行う。	児童が本に親しみ、設定した目標数値を超える割合が90%以上にする。

重点領域2		豊かな人間性の育成
中期経営目標	自分の大切さとともに他の人の大切さを認める心と態度、実践する児童の育成	
短期経営目標	「つながって」 ・多様性を認め合い、人とのつながりを大切にする児童の育成 ・人権教育と道徳教育の授業実践と日常化 ・いじめは絶対に許さないという風土の醸成	
項目	努力指標（教師側）	成果指標（こども側）
1	教員自らが日常的に100%気持ちの届く挨拶を心掛け、児童の挨拶の励行やきめ細かな生活指導を行う。	「気持ちの届く挨拶ができる」という肯定回答が95%を超えるようにする。
2	縦割り班活動を月1～2回、地域の方とのふれあい活動など、計画に基づいて全教員が100%実施し、異年齢や地域とのかかわりを支援する。	「異年齢交流や地域の人たちとのかかわりが楽しい」「協力し合えた」と回答する児童が100%にする。
3	人権担当・道徳推進教師を中心に、全校で「いじめ0プロジェクト」を実施、全学級で「いじめ見逃し0」を目指す。	児童の意識調査で、「いじめはどんなことがあっても絶対にしてはいけない」と回答する児童を100%にする。
4	特別支援教室と連携し、多様性を認め尊重しようとする態度を育てる取組を全教員が行う。	「自分と異なる意見や考え方を大切にしたい」という肯定回答が95%を超えるようにする。

重点領域3		体力の向上と健康の保持増進
中期経営目標	すすんで運動し、健康な生活について考え、実行する児童の育成	
短期経営目標	「自分らしく 前向きに」 ・運動の習慣化、「体力スタンダード」に基づいた体力向上策の推進 ・児童の主體的な健康づくりやしなやかな心の育成	
項目	努力指標（教師側）	成果指標（こども側）
1	全教員が休み時間の外遊びを働きかけ、年5回の体力向上月間には目標をもって取り組ませる。	休み時間や体力向上月間など、すすんで楽しく運動したと回答する児童が95%以上になるようにする。
2	児童のよさを認める声かけや児童自身が「自分らしさ」を生かすことのできる指導を全教員が日常的に行う。	「自分にいいところがある」と回答する児童を100%にする。
3	保健指導や食育指導を養護教諭や栄養士と連携して年2～3回実施。防災体験学習や月1回の安全指導を通し、自助と共助の意識を育てる取組をする。	「健康や安全について考えている」と回答する児童が90%を超えるようにする。

重点領域4		地域・保護者からの信頼度の向上
中期経営目標	安心・安全・信頼される学校づくり	
短期経営目標	・特色ある教育の推進と地域・保護者からの信頼 ・ホームページなどによる教育活動の可視化	
項目	努力指標（教師側）	成果指標（こども側）
1	ホームページを各学年毎月2回更新し、学級経営や学校経営を親しみやすく分かりやすいものにする。	保護者アンケートで「教育活動は分かりやすい」という肯定的回答が95%を超えるようにする。
2	教員と管理職との報告・連絡・相談等連携をしっかりとる。保護者の不安や疑問に対して速やかに対応し、信頼関係を構築する。	保護者アンケートで「学校は、こども一人一人を大切に教育に当たっている」という肯定的回答が90%を超えるようにする。
3	PTA や地域行事に対して児童の参加を促し、自身も参加協力する。「保幼小中連携事業」等積極的にかかわり、児童・卒業生を見守るとともに、地域・保護者と円滑な人間関係を構築する。	保護者アンケートで「教員は地域やPTA活動に協力的である」という肯定的回答が90%を超えるようにする。